

# 聖徳通信

～ご卒業おめでとうございます～

平成22年9月25日(土)今秋卒業を迎える卒業生138名(大学院6名・大学97名・短大35名)の内59名が出席し、「平成22年度 秋期学位記・卒業証書学位授与式」が挙行されました。あいにくの小雨模様でしたが、式典が終了する頃には、参加者同様晴れやかな秋空が広がっていました。



## 卒業を迎えて...



川並学長は告辞の中で、学位を修めたことへのお祝いの言葉と将来の教育を担う者として在るべき姿や心構えを述べられました。



教員免許状の取得を目指す学生が多く学ぶ聖徳大学。今秋の卒業生の大半がそうでした。



厳肅な中にもどこか温か味のある卒業式。次は桜のつぼみがほころぶ春三月です。一人でも多くの卒業生に出会えることを、教職員一同楽しみにしています。

卒業生の内訳

大学院児童学研究科博士前期課程	6名
児童学部児童学科	2名
人文学部児童学科	16名
人文学部社会福祉学科	30名
人文学部心理学科	32名
人文学部日本文学科	13名
人文学部英米文学科	4名
短期大学部保育科	35名
計	138名

### message —メッセージ— 卒業生から在学生へ

コツコツ勉強したかがありました。何でもやれば出来ると自信がつかえました。感無量です!! 勉強中のみなさんもゴール目指して頑張ってください。



通信教育では、信念だけではなく、目標達成に向けて諦めない力が身に付きました。みなさまも大変だと思いますが、卒業へ向けて歩を止めないでください。

立ち止まっても「卒業」の目標だけは忘れずにいれば必ず一歩踏み出せます。諦めず、腐らず前だけを見て今出来ることから始めてください。

心理学科 (千葉県在住)

児童学科 (山梨県在住)

児童学科 (千葉県在住)



先生方、大変お世話になりました。自分との戦いで苦戦しましたが、今となっては少しさみしい気分です。今頑張っているみなさんもぜひやり遂げてほしいと思います。



先生方、大変お世話になりました。自分との戦いで苦戦しましたが、今となっては少しさみしい気分です。今頑張っているみなさんもぜひやり遂げてほしいと思います。



心理学科 (千葉県在住)

苦勞と努力を乗り越えた時の満足感・達成感というのは、計り知れないものです。一步一步道を突き進んでゴールへ向かって歩んでください。



保育科 (宮城県在住)

通信教育は自分自身を見つめ直す絶好の機会です。これは後の人生に大いに役立つと思うので、諦めずに挑戦し続けてください。必ず結果はついてきます。



保育科 (千葉県在住)

積極的に声をかけ多くの友達を得てください。そして一歩前へ進めば必ず「卒業」が待っています。諦めないでください。

友人ができると、悩みが相談できたり、勉強のアドバイスをいただけたりと、本当に助けられました。みなさんも頑張ってください。

心理学科 (千葉県在住)

日本文学科 (埼玉県在住)



辛いこと、苦しいことたくさんあると思います。でも卒業を迎えるとすべていい思い出になると思いますよ! それを目指して頑張ってください。

保育科 (神奈川県在住)

夢が現実になる。聖徳がその学びの場所だったので。夢、目標を持って頑張る仲間、友達も出来ました。

続けていれば卒業は見えてきます。頑張った卒業にたどり着いた友達はたくさんいます。一人じゃなかったんだと思える日が絶対来ます。

保育科 (千葉県在住)

保育科 (千葉県在住)



# 卒業生・修了生へのインタビュー

「やりたいからやる」勉強は本物だと思います。



人文学部心理学科  
安達 美香さん(神奈川県在住)

## —入学のきっかけを教えてください。

笑いあり涙ありの子育て、また保育の仕事を通じて「子どもの心が見える鏡がほしい!」と日々思っていた私。次第に心理学に興味を持ち始め、16年前に別の学科の資料請求をしたことがある聖徳大学に「これは縁だ」と迷わず入学。(でも「子どもの心が見える鏡」には縁がなかったようです。)我が子をはじめ子どもたちが、私に学ぶきっかけを与えてくれました。

## —卒業を迎えた感想をお聞かせください。

率直に嬉しいです。そして、ここからスタートする「何か」があると思うと身が引き締まる思いです。通信教育での学びは多くの方の理解と協力が必要でした。職場の同僚、一緒に学んだ仲間や先生方、友人、家族に感謝の思いです。

## —学習の支えになったものは何でしたか。

毎月届く聖徳通信。学習意欲が低下している時に届くと、「みんな

頑張っているんだ」という気持ちになりました。そして返却されたレポートです。先生の丁寧な講評はとても嬉しいものでした。レポートを納めているクリヤーブックの厚みが増すたび、「よし!」と気合が入りました。

## —今後の夢や将来の目標をお聞かせください。

別の場所で別の形で勉強を続けたいと思います。目標はアマゾンで買い込んだ文献を読むこと。夢は人の話を聴ける「人」になることです。

## —後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。

学びたいことに出会い、学ぶことを決め、学び出した私たちは確かに前へ進んでいます。偏差値や順位を気にすることなく「やりたいからやる」勉強は本物だと思います。レポートの締め切り、科目終了試験やスクーリングの参加など思うように進まないこともあるかと思いますが、頑張ってください。

## 卒業によって大きな自信を得ることができました。

### —入学のきっかけを教えてください。

高校生の頃、保育の現場で働きたいと思いつつも、子どもにとって重要な時期に関わることに對しての不安が大きかったため、保育とは関係ない進路を選択しました。しかし、就職してから、その仕事が自分に合っているのか疑問を感じると同時に、子どもを好きな気持ちや子どものことをもっと知りたいという気持ちは変わりませんでした。そのため、もう後悔したくないと思い入学を決めました。

### —卒業を迎えた感想をお聞かせください。

入学して3年半。長かったけれど、あっという間でした。この3年半は、何をしても勉強のことが頭から離れず、辛くて、早く卒業したいという気持ちでいっぱいでした。しかし卒業が決まった今は、少しさみしい気持ちもあります。

多くの人に出会い勉強以外にもたくさんのご縁を学び、卒業によって大きな自信を得ることができ、充実した3年半を過ごすことができました。

### —聖徳大学での一番の思い出は何ですか。

「一番の思い出」は分かりません。でも思い出はたくさんあります。

科目の多さに不安になったこと。ピアノの試験で手が震える程、緊張していたこと。返ってきたレポートが不合格で激しく落ち込んだこと。スクーリングで友達と出会ったこと。試験結果の入った封筒を開ける時の緊張感など。他にもたくさんありますが、入学してから日々の出来事、1つ1つが良い思い出です。

### —学習の支えになったものは何でしたか。

家族や職場の方々の理解や励ましの言葉、聖徳で知り合った友達との存在です。そして2年程度前から保育所で非常勤として仕事を始め、毎日、子どもと関わることで「早く資格をとって『補助』ではなく『保育士』として、この子たちと接したい」という気持ちを保てたことが、学習する意欲につながりました。

### —後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。

今は、辛い気持ちや不安を抱えている方が少なくないと思います。しかし卒業が決まると、それを上回る喜びや達成感が待っているのです。卒業することにより大きな自信につながりました。

苦しくなったら休んだり、少し逃げてもいいと思います。でも決してあきらめないでほしいです。あきらめなければ、いつか必ず卒業できることを忘れないでください!



短期大学部保育科  
大矢 優美さん(神奈川県在住)

## 保育学について、さらに深く勉強してみたいです。

### —修了を迎えた感想をお聞かせください。

とても嬉しい気持ちでいっぱいです。研究論文について、塩美佐枝先生には直接、いろいろご指導頂き、心より感謝しております。そして、たまたま出席した「幼児教育史学会」で藤原新治先生にお会いすることができ、参考文献等をご紹介頂き、厚く御礼申し上げます。さらに各科目のレポート、スクーリングで教えてくださった全ての先生方にも感謝しております。本当にありがとうございました。また、修了を迎えて、今まで支えてくれた家族にも御礼を言いたいと思います。

### —聖徳大学大学院での一番の思い出は何ですか。

スクーリングを通して直接先生方から教えて頂いたことです。それぞれの科目で本当にわかりやすくお話し頂いたので、真剣に学ぶことができました。そして、そこで同じ目標を持つ仲間と出会えたことが、素晴らしい思い出になりました。

### —今後の夢や将来の目標をお聞かせください。

私は、神奈川県川崎市内の私立幼稚園の園長をしていますが、聖徳大学大学院での学びを仕事に生かしていくことができれば良いと思っています。そして、将来この保育学について、さらに深く勉強

してみたいと思います。

### —入学のきっかけや研究テーマについて教えてください。

日本の幼稚園が「遊び派」から「学び派」まで、特徴がかなり違うのはなぜなのか、そしてどうしてそうなっていったのか、歴史を通して研究したいと思ったのが、入学のきっかけです。研究テーマは「幼稚園教育における系統主義的教育と子ども中心主義的教育の変遷に関する一考察 ～明治時代の幼稚園における系統主義的教育の定着を中心に～」でした。

### —後輩のみなさんへのメッセージをお願いします。

何と言っても健康第一です。体調を崩さないよう無理をせず、自分のペースを守りながら、継続して一生懸命努力することだと思います。そのためには、時間をうまく使うことです。休日の利用等は、計画的に行くと良いでしょう。

また、科目については、内容の近い科目を選び、同時期にレポートを作成すると、集中して勉強できると思います。テストも同じ日に受験すると良いでしょう。そして、修士論文は、構想については初めから考えた方が良いでしょう。他の科目の単位をほとんど取得できているから、じっくり時間をかけて取り組むことをお勧めします。



聖徳大学大学院 博士前期課程  
児童学研究科保育学専攻 修了  
志村 雄治さん(神奈川県在住)

## 聖徳大学通信教育部 4月生募集を開始します。

大学・短期大学部 ※書類審査のみ

2011年度 4月生 出願期間

12/20 ~ 4/30

大学院 (博士前期課程)

2011年度 4月生

A 出願期間 12/13 ~ 1/18  
入試 1/23

B 出願期間 1/31 ~ 2/28  
入試 3/5

通信教育部 児童学部	● 児童学科
通信教育部 人文学部	● 社会福祉学科 ● 英米文化学科 ● 心理学科 ● 日本文化学科
短期大学部 通信教育部	● 保育科 ● 専攻科 保育専攻
大学院 通信教育課程	● 児童学研究科 児童学専攻 ● 博士前期課程、博士後期課程

始めれば、そこがキャンパス  
聖徳大学通信教育部 共学

資料請求・お問い合わせ ※詳細はホームページをご覧ください。http://www.seitoku.jp/ik/

TEL 電話で 047-365-1200  
[月~金 8:30~17:30、土 8:30~15:00]

FAX 電話で(24時間受付) 047-331-7422  
[月~金 8:30~17:30、土 8:30~15:00]

メールで(24時間受付) tsuushin@seitoku.ac.jp

